

2023年度テーマ

より多くのステークホルダーを巻き込む

【活動方針】これまでに築いたネットワーク維持と新規ネットワークの構築を意識する



オリジナルイベント「ひょうご・おたる運河調査隊2023」

各教育委員会との連携、地元メディアの活用などを行い過去最多の163名に応募いただき、志望動機をもとに20名を選考。参加した子ども達の中には、後日、漁港で見つけた幼魚、幼体を捕まえて調べている子や自由研究として独自のレポートをまとめる子も。海プロきっかけに海に興味を持ったとして追いかけて取材も実施。

《都道府県の枠を超え新規ネットワークを作るために》

兵庫事務局として初めての挑戦となった他エリアとの比較を行うコラボオリジナルイベント。“2つのイベントをひとつに”ということを中心に、各地域の違いがわかり、比較ができるよう対となるプログラムを構築できた。北海道事務局・講師陣との綿密なMTGを重ねた結果だと考える。

《ネットワーク深度の強化と新規ネットワーク構築の為に》

地域内での広がりをもっと強化し、より話題化する事を意識して事業を実施した。昨年度までは淡路市や豊岡市といった兵庫県内でも遠方エリアに力を入れていたが、より基盤強化を図るためにすべきことを考え、身近な神戸市内で、訪れていないエリアのステークホルダーを巻き込む事にした。オリジナルイベントにおいても、講師陣を一新したことで、地域の漁協組合で海の未来のため、熱心に取り組む方に出会えた。

《個と個を結ぶネットワークのハブを生み出した》

海底耕耘プロジェクト等を立ち上げ明石の海の盛り上げに寄与する記者、金山成美氏や兵庫運河で活動を行う樽屋五兵衛など地域の熱源となる「専門的に海に関わっている人・企業」の発掘に成功。新しく連携したステークホルダーも多く、当団体を中心に海に関わる取り組みの推進・発信ができるネットワークになりつつある。

2023年度成果の一部



地域の課題や失われつつある食文化を発掘し取材報道！明石市の大漁旗製作者や豊岡市の失われつつある伝統食を発掘し取材放送。伝統食「さばのじゃう」は豊岡でも1店舗でしか提供しておらず、プロジェクト訴求映像でも伝えることに。



神戸南京町皇蘭とコラボ！中華街で販売！

活動に賛同いただいた神戸の名店「皇蘭」と連携し商品開発。一大観光地である中華街の店舗で販売し、地元民を含める多くの観光客に訴求。

2024年度の事業推進テーマは・・・ 「入り口は無限大」！

本年度「より多くのステークホルダーを巻き込む」をテーマにして活動した結果、拡大した領域を活かして、さらに地域ネットワークを強化し課題を解決し、取組の周知広報も強化していく。特に今年は「専門的に海に関わっている人・企業が中心になったので、海への興味関心が低い人にも伝えることを意識していきたい。そのためにも、「身近なもので海をテーマにしている商材を扱う企業」、子どもを中心に海への関心を高めていくため「海に熱い思いをもった人」などにフォーカスをあてた取材活動に力を入れていく。そのほか、アスリートや文化人など一見、海とかわりななさそうな切り口から、海への興味関心を高める発信にも挑戦する。オリジナルイベントでは、兵庫の海の謎を紐解くという視点で、子どもたちが取材やフィールドワークを通して学び、特別番組として広く発信していく。